

高岡地区	参加学校名 小杉、大門、新湊、高岡、高岡西 高岡商業、伏木、志貴野、福岡、氷見
各校における情報教育の取り組みについて （「情報」の問題点やその工夫、その他授業実施上、新カリ、授業以外で）	
大門高校 生徒の作品のファイルサイズが大きくなってきており、ファイルサーバー用の HDD の容量が足りなくなっている。 また、卒業生のファイルそのものが残っている場合があり、削除して対応しているが削除してもいいファイルかどうかの判断に迷うことがある。 高岡西 パソコンが故障するトラブルがあり大変苦労した。とくに先日バックアップに関するトラブルがあり 8 月からバックアップが保存されていない状況が続いていたところにデータの消失が発生してしまい対応に苦慮した。機器を納入する業者と運営を担当している業者が別々であるためお互いに責任のなすり合いになりトラブル解決がなお一層複雑化した要因になっている。 志貴野 機器は充実している。（現在のところ・・・）Vista のマシンもトラブルなく快適に動いている。年度ごとにパソコンのメンテナンスを実行しトラブルの発生を極力抑えるような努力をしている。保守点検についても気を配りながら利用している。また、情報管理部という分掌があり責任を明確化している。（役割分担を明確にしている。） 福岡高校 今年は生徒用パソコンと教師用のパソコンの更新時期が重なり、かなりの時間をかけることになった。とくに情報企画課（県庁）との調整は非常に煩雑な手間がかかり負担が大きい業務であった。また、仕様等に関する問い合わせや仕様変更への圧力もあり思った通りの配備にするためには相当の苦労と知識が必要であると感じた。県庁から指定されているバックアップの方法ではトラブルにつながる可能性が高く、外付けのハードディスクに保存する対策も進めている。現在のところトラブルが発生することなく運用を継続することができている。 伏木高校 生徒用パソコンは来年度更新予定である。教師用のバックアップに関しては毎日動作するように設定している。ただし、接続しているハードディスク 3 台のうち 2 台とも故障しないと故障が発見できない状態で運用しているので、トラブルの発生に関して毎日心を痛めている。 氷見高校 教員がデジタルカメラで撮影したデータをむやみに（選択することなく）保存することが多く、保存用のハードディスクがいっぱいになりつつある。生徒用のパソコンに関しては来年統合する有磯高校のものが手に入るので少しは余裕のある使い方ができると考えている。 実習室に関しては 3 部屋があるが、生徒数や授業の関係から考えると手狭であることは歪めない。 高岡高校 パソコンの OS のバージョンが古く、またパソコンそのものも古いのでノートパソコンの液晶画面の傾きを修正しようとするとう画面の取っ手が折れるトラブルが複数回生じている。（今後も発生の懸念がある。）OS が古いパソコンと新しいパソコンが共存しているためにウィルス対策ソフトのインストールに困っている。 小杉高校 昨年度新しいパソコンが配備されたので快適に利用している。実習室は 2 部屋あるが、実習等で利用する機会もあまり多くはないのである程度余裕を持って利用している。 新湊高校 情報処理室が 2 部屋ある。ただし、商業科と 1 学年の情報での利用があるため、使用頻度は極限までの状態で利用している。写真および動画の保存の機会が増加し、ハードディスクの容量が減ってきている。 まとめ ネットワーク管理者にとって機器の管理が大きな負担になっている。また、仕様書の作成等が生じると専門的知識が必要となりかなり負担が大きく、また対応に苦慮する。ときには専門的な知識が不足しているため対応そのものが困難になる場合もある。	